

スリーピングパッドの修理方法 (ピンホールからのエア漏れ)



1.用意するもの

収納スタッフサックの内ポケットにはリペアシート、接着剤が入っています。

(接着剤がない場合はアウトドア用品補修材として流通している「シームグリップ」で代用可能です)

今回はエア漏れ修理依頼がもっとも多く、見つけにくいピンホールからのエア漏れについて説明します。

手順2、3で紹介しているエア漏れ箇所を特定する方法以外にも、水を張ったバスタブ等に膨らませたパッドを浸し、表面から出る気泡を探す方法があります。



2.最初に大まかなエリアを特定します

パッドを膨らませ、濡らした手でパッドをかざし、少しずつ手を移動させながらエア漏れの大体のエリアを特定します。濡れた手でかざす方がエア漏れによる微量の空気を感じることが出来ます。

(ポイント)

- ・この作業は室内でエアコンなどによる風の影響がない環境下で行う必要があります。

- ・微量のエア漏れを効果的に見つけるにはパッドの上に乗るなどして適度の圧力をかけ続けることが有効です。



3.エア漏れが発生しているポイント(ポイント)を特定します

特定したエリアに少量の水をかけます。小さな泡が出ているところがエア漏れのポイントになります。

(ポイント)

- ・この時もパッドの上に乗るなどして適度の圧力をかけ続けることが有効です。

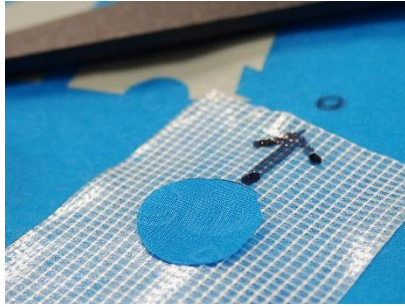


4.ポイントに印をつけます

油性ペンでエア漏れポイントに小さく印をつけます。

(ポイント)

- ・穴は複数個所に空いていることがあるのでパッド全体をくまなく調べてください。



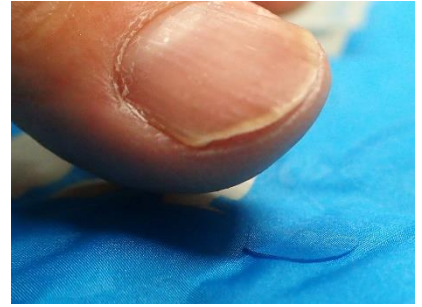
5.リペアシートをカット

穴の大きさより少し大きめにリペアシートをカットします。

(ポイント)

- ・必要以上に大きくシートをカットする必要はありません。

- ・シートが剥がれないように角は丸めてください。



6.穴を塞ぎます

パッドの空気を完全に抜いてから接着剤またはシームグリップを穴が空いている箇所を中心に薄く塗ります。粘着性を高めるために5分ほど経ってからリペアシートをパッドに乗せ、指先でしっかり押さえます。



7.仕上げ

接着剤がついていない部分があれば爪楊枝などを使用して接着剤を塗ります。リペアシート全体がしっかりとパッドに密着して剥がれないことを確認してから完全に乾燥するまで24時間放置します。



8.最終確認

再度パッドを膨らませてエア漏れがないか、不完全な接着箇所がないか確認して終了します。

(ポイント)

- ・ロール状に丸めて収納するため、リペアシートの端までしっかりと接着されているか確認してください。リペア後のシート剥がれは、接着の不完全なところから発生しやすくなります。

その他

- ・シームグリップを使用する場合は、盛るように塗るだけでも穴を塞ぐことができます。

(ポイント)

- ・エア漏れ箇所を特定するために表面が濡れていた場合は、きれいに拭いて乾燥させた後に少し盛るようにして24時間乾燥させます。

大きく裂けているような場合の完全な修復は、難しい場合があります。

その他修理に関してご不明な点がございましたらお問い合わせください。

TEL:03-3555-5605

E-mail : otoiwase@iwatani-primus.co.jp